

Web会議で緊急の議題も素早く召集 迅速な意思決定で機会損失を防ぐ

NTTアイティ

MeetingPlaza電網会議室サービス

NTTアイティの「MeetingPlaza」は、インターネットを利用したWeb会議サービス。素材型電子部品メーカーのNECTーキンが今年8月、この「MeetingPlaza」を社内に導入、国内外の拠点を結んだ遠隔会議を日常的に行えるようにした。世界各地に拠点を持つ同社では、有効な遠隔会議がいつでも可能になったことで、出張費などコストの大幅削減も見込む。

海外子会社の定例トップ会議に導入

「Web会議が導入されてから、海外の子会社のトップ約30人が同時参加する幹部会議が毎月1回定期的に開催されるようになりました。以前はスケジュール調整や出張費の都合から、頻繁な開催は事実上できませんでした。が、制約がなくなったことで、グローバ

ル規模におけるタイムリーかつ迅速な意思決定がより簡単に行えるようになりました」。NECTーキン情報システム部の高橋英氏は、Web会議サービスである「MeetingPlaza」導入後の変化をこう語る。

2002年に日本電気電子部品事業部門とトーキンが統合して誕生した同社は、電子部品材料から電子部品の自社開発までを行う素材型電子部品メーカー。キャパシタや電池などのエネルギーデバイスや、ICカード&タグやリレーなどのネットワークデバイス、磁性デバイスや圧電デバイスなどのファンクショナルデバイスを製造する。生産工場は国内8拠点に加え、海外に中国、フィリピン、ベトナム、タイなど6拠点。従業員数は関連会社を含め国内1600人、海外1万5000人にのぼる。もちろん、海外の取引先も多く、グローバルな事業展開にコミュニケーションの円滑化は必須となっていた。

従来、同社では社内担当者や取引先との打ち合わせやプレゼンテーションには、音声会議システムを主に使用していた。しかし、声だけでは微妙なニュア



「充実したサポート態勢に満足」
NECTーキン 情報システム部
高橋 英 氏

スの違いで誤解を招く恐れもあり、顔を見てやりとりできるWeb会議の導入が課題でした」と高橋氏は振り返る。

充実のサポートで 運用負荷も軽減

いくつかの製品を比較するなかで目に留まったのが、NTTアイティのMeetingPlazaのデモンストレーションだった。

「インターネットが接続できる場所であればすぐに会議に参加できる手軽さ、ASP（アプリケーションソフトをインターネット経由で利用できるサービス）のため、ソフトのインストールの手間などがからず、安く、短期間に導入できる点などに大きな魅力を感じ、最終的にMeetingPlazaに決めました」（高橋氏）。ASPなので、常に最新版を利用でき、バージョンアップの手間もかからないという点も魅力的に映った。

早速、2003年12月に、情報システム部内で進行するプロジェクトで試験運用を開始。実際の使い勝手も良かったことから、2004年8月に全社的な運用を始めた。幹部会議のほか、情報システム部内での週2、3回の打ち合わせなど、さまざまなシーンで使われている。

会議の招集も簡単だ。新しい参加者には、メールを送信して即座に参加してもらえらるなど、緊急の会議もすぐに行うことができる。ノートパソコンからPHSカードなどを介してインターネットに



高機能かつ使い勝手の良いユーザー・インターフェース

接続できるため、出張先のホテルなどから会議に参加する社員もいるという。以前はメール配布していたエクセルやパワーポイントなどのプレゼンテーション資料などを、参加者のパソコン上に表示できる文書共有機能も好評だ。「ファイル上に円や線を書き込めれば、他のパソコン上でもそれが反映されるので、的確でわかりやすい説明ができるようになりました」（高橋氏）。

さらに高橋氏は、「操作などでトラブルが生じてても、サポート担当者が常駐し、すぐ対応してくれるので安心です。一元的な運用管理が可能になり負担も軽く助かっています」と、充実したサポートに満足感を示す。同社は今後もMeetingPlazaを業務のなかで積極的に活用していく考えだ。

簡単、安価に導入でき、インターネットに接続できる環境さえあれば、確実にコミュニケーションを図れるMeetingPlaza。スピード経営を力強く後押しする投資対効果の高いソリューションといえるだろう。

中堅・中小企業のための

情報化投資 講座